

は に ゆ う だ え き し ゅ う へ ん

羽生田駅周辺地区

(新潟県田上町)

- 計 画 期 間 平成28年度～令和2年度
- 面 積 60.5ha
- 交付対象事業費 2,151百万円
- 町人口 11,323人

ポイント

新たなまちづくりの拠点としての羽生田地区の賑わいづくり。

地区概要

本地区は、田上町のほぼ中央に位置し、町の公益機能が集中する地区であり、新たな時代に対応したコンパクトなまちづくりを進めるため、町役場庁舎の隣に整備予定の「道の駅」と併せ、多様な交流が広がる新たな交流施設やまちおこしの核となる施設を整備する。

目 標

- ①多様なつながりを生み出す都市機能の整備
- ②公共機能相互のネットワーク化
- ③町民参加による新たな地域価値の創造

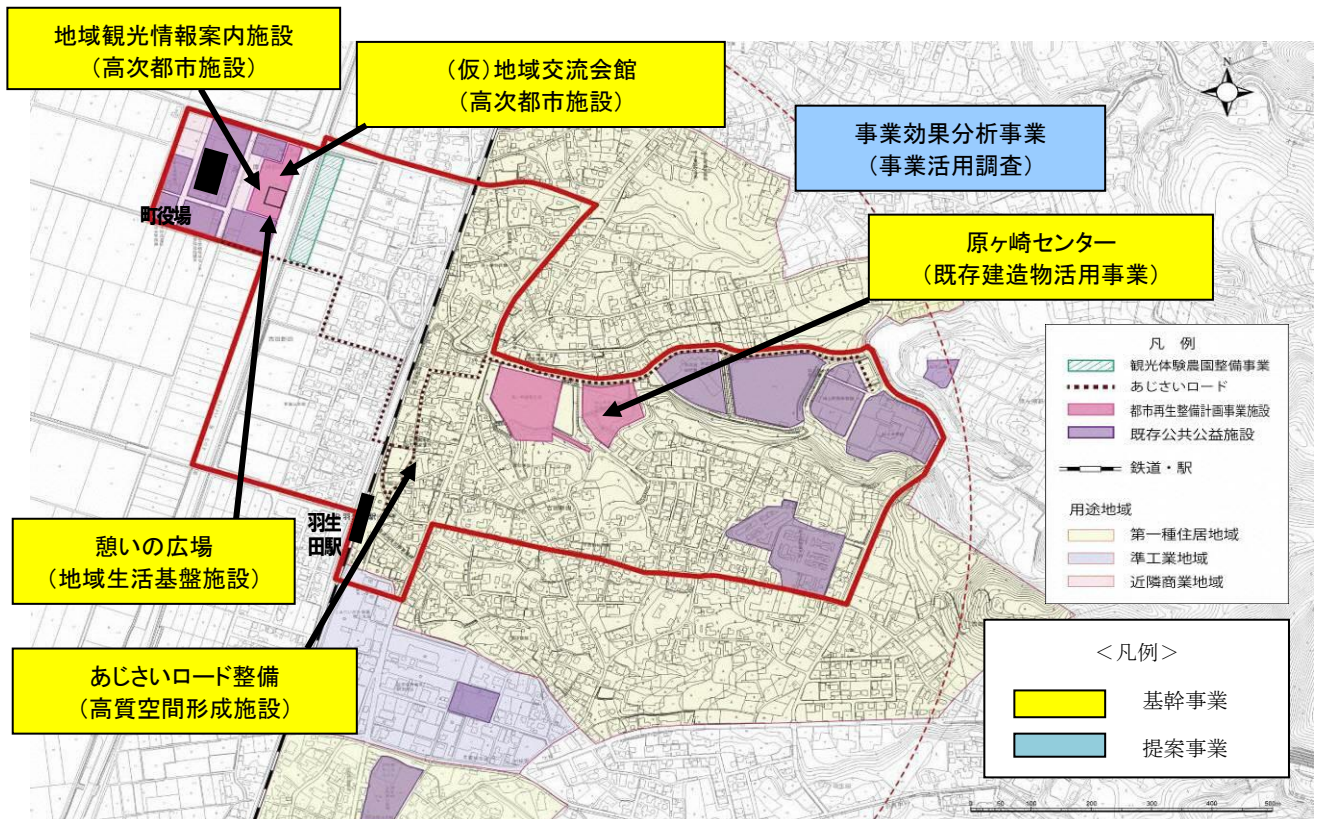
指 標

町民活動・イベント、町民交流、来町者との交流、まちおこし活動などを推進し、町民の満足度の向上を目指す。

(仮)地域交流会館利用者数	19,288人 (H26)	→	34,000人 (R2)
まちおこし活動参加者数	1,830人 (H27)	→	15,000人 (R2)
町民の暮らしの満足度	141.1点 (H23)	→	152.8点 (R2)

事業内容

- 基幹事業 (2,148百万円) → 地域生活基盤施設整備、高質空間形成施設整備、高次都市施設整備、既存建造物活用事業
- 提案事業 (3百万円) → 事業活用調査事業



地区の現況と課題

現況

町の人口は平成12年をピークに減少に転じ、概ね25年後の平成52年には人口が現在の2/3以下になり、高齢化率が約46%となることが予測されている。急速な少子・高齢化に直面する中で、今後、人口減少を抑制することと併せ、高齢者を含めた町民が生きがいを持って元気に暮らせる住環境の形成や地域資源を活かし、町の魅力を引き出す郷土愛を持ったまちづくりの核となる人材育成が求められている。

課題

1. 地域拠点である羽生田駅周辺の都市機能の強化

都市機能の集積により賑わいのある地域拠点の形成に向けて魅力を強化すること。

2. 多様な交流が広がる新たな交流拠点づくりと賑わい

高齢者を含む町民が社会と関わり、町民どうしがつながりあえる「まちづくりの核」となる新たな交流施設の整備を行い、地域の賑わいを創造すること。

3. まちおこしのための核施設の整備

地域資源を利用した地域ブランドの開発・研究のための核となる施設整備をすること。

4. 公共施設どうしの連絡性の強化をまちなかへの人の誘導

公共機能利用の利便性向上のため、公共施設等を相互に連絡する安全な歩行者ネットワークの形成。

5. 町民のまちづくりへの参加の促進

町民のまちづくりへの主体的な参加を促すことで、地域に根ざした環境整備や町民による地域価値の再認識につなげること。

計画策定プロセス

田上町道の駅基本構想・基本計画の策定

平成27年に道の駅等整備に係る基本構想・基本計画に関する調査、検討及び協議等を目的とし、農林業関係者、商工観光業関係者、社会教育関係者、学識経営を有する者等で組織する道の駅等整備検討委員会を立ち上げ、6回の委員会を開催し、平成28年3月に田上町道の駅基本構想・基本計画を策定した。

第5次田上町総合計画後期基本計画の策定

平成28年度に第5次総合計画後期基本計画を策定し、総合計画の目標である「やさしさと豊かさでキラリと輝くまち田上」を実現するため、新しいまちづくりの拠点整備（道の駅整備、地域交流会館の建設、原ヶ崎交流センターの整備）を重要な施策として位置付けられた。



道の駅等完成



地域交流会館多目的ホール



原ヶ崎センター完成



原ヶ崎センター研修ルーム